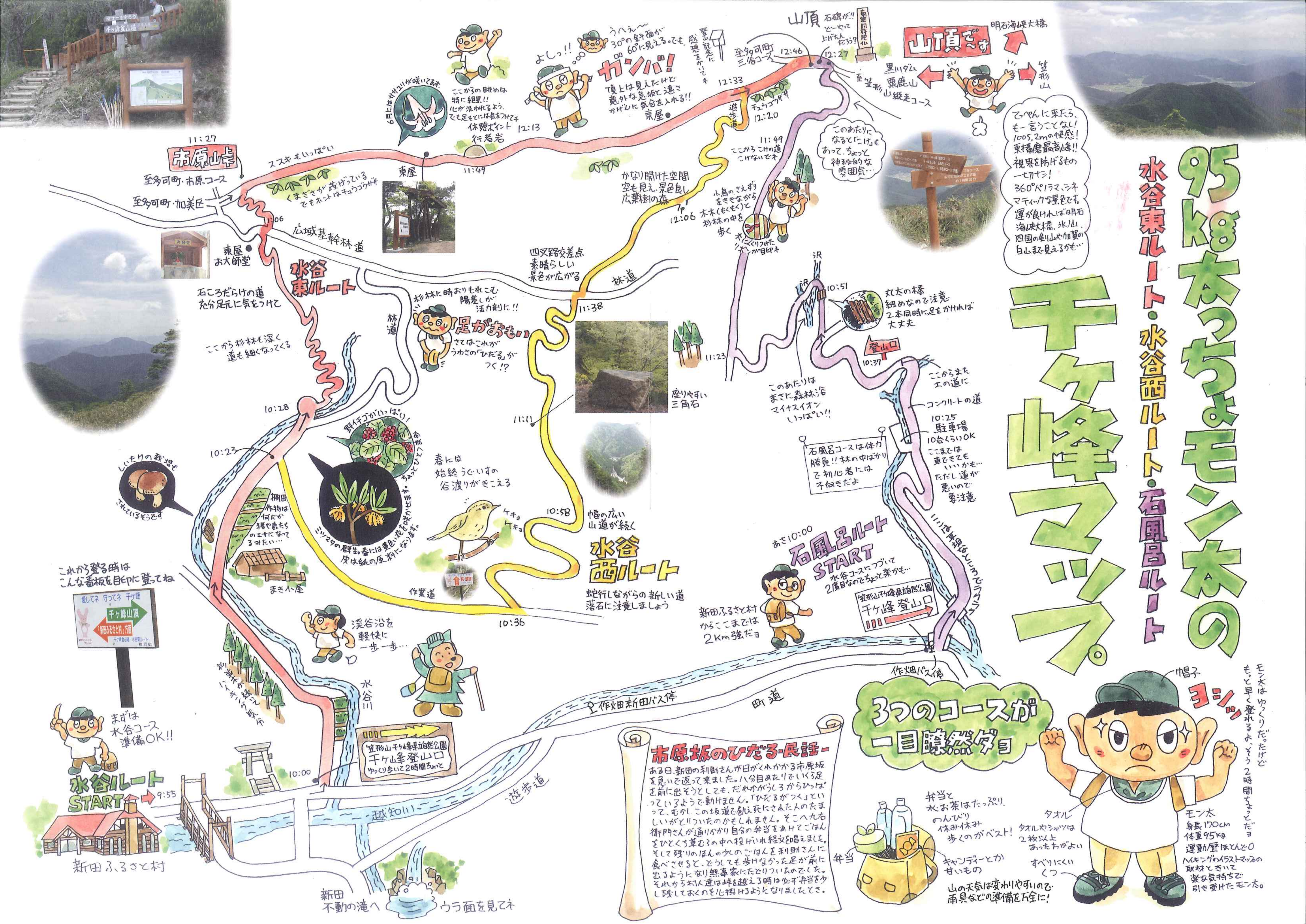
95kgなっちょモン太の
水谷東ルート・水谷西ルート・石風呂ルート
千ケ峰マップ


マナーを守ろう
千ケ峰登山道
11:27
市原峠
至多可町・市原コース
至多可町・加美区
スス干もいっぱい
くまざさが茂げっている
でもホントはチュウゴクザサ
11:06
広域基幹林道
東屋
お大師堂
大師堂
水谷東ルート
石ころだらけの道
充分足元に気をつけて
ここから杉林も深く
道も細くなってくる
林道
東屋
11:49
6月にはササユリが咲いてます。
ここからの眺めは
特に絶景!!
心が洗われるよう。
でも足もとには気をつけてネ
休憩ポイント
行者岩
12:13
よしっ!!
うへぇ〜
30°の斜面が
60°に見える。でも、
ガンバ!
頂上は見えたけど
意外な急坂と遠さ
かげんに気合を入れる!!
東屋
登山記念に感想をかいてネ
遊歩道
12:33
チュウゴクザサ
12:20
至多可町
三谷コース
12:46
山頂
石碑が!!
どーやって
上げたんだろう?
12:27
南無阿弥陀仏
至笠形山縦走コース
山頂です
明石海峡大橋
黒川ダム
粟鹿山
笠形山
てっぺんに来たら、
もー言うことなし!
1005.2mの快感!
東播磨最高峰!!
視界を防げるもの
一切ナシ!
360°パノラマ、シネマティックな景色です。
運が良ければ明石海峡大橋、氷ノ山、
四国の剣山や加賀の
白山まで見えるかも…
このあたりに
なると「こけ」も
あって、ちょっと
神秘的な
雰囲気…
11:49
ここから こけの道
こけないでネ
小鳥のさえずり
をききながら
木木(もくもく)と
杉林の中を
歩く
木にくくりつけた
リボンが目印ネ
かなり開けた空間
空も見え、景色良し
広葉樹の森
12:06
四叉路交差点
素晴らしい
景色が広がる
林道
11:38
杉林に時おりもれこむ
陽差しが
活力剤に!!
足がおもい
さてはこれが
うわさの「ひだる」が
つく!?
座りやすい
三角石
11:11
10:28
10:23
野イチゴがいっぱい!
ちょっとひとつまみ
ミツマタの群生。春には黄色い花を咲かせます。
皮は紙の原料になります。
春には
始終うぐいすの
谷渡りがきこえる
ケキョ
ケキョ
10:58
幅の広い
山道が続く
水谷西ルート
蛇行しながらの新しい道
落石に注意しましょう
作業道
10:36
しいたけの栽培も
されているそうです
棚田
作物は
何だか
猪や鹿たち
のエサになって
るみたい…
まき小屋
これから登る時は
こんな看板を目印に登ってね
愛してネ 守ってネ 千ケ峰
千ケ峰山頂
「新田ふるさと村」方面
千ケ峰登山道 水谷東ルート
神河町
溪谷沿を
軽快に
一歩一歩…
杉並木が続くハイキング気分
水谷川
まずは
水谷コース
準備OK!!
水谷ルート
START
9:55
10:00
笠形山千ケ峰県立自然公園
千ケ峰登山口
ゆっくり歩いて2時間ちょっと
新田ふるさと村
越知川
遊歩道
新田
不動の滝へ
ウラ面を見てネ
作畑新田バス停
町道
沢
沢
10:51
丸太の橋
細めなので注意
2本同時に足をかければ
大丈夫
11:23
登山口
10:37
このあたりは
まさに森林浴
マイナスイオン
いっぱい!!
ここからまた
土の道に
コンクリートの道
10:25
駐車場
10台くらいOK
ここまでは
車できても
いいかも…
ただし道が
悪いので
要注意
石風呂コースは体力
勝負!! 林の中ばかり
で初心者には
不向きだよ
ここは平坦なところでラクラク
あさ10:00
石風呂ルート
START
水谷コースにつづいて
2度目なのでちょっと楽かも…
新田ふるさと村
からここまでは
2Km強だョ
笠形山千ケ峰県立自然公園
千ケ峰登山口
作畑バス停
3つのコースが
一目瞭然ダョ
弁当と
水・お茶はたっぷり、
のんびり
休み休み
歩くのがベスト!
弁当
キャンディーとか
甘いもの
山の天気は変わりやすいので
雨具などの準備を万全に!
帽子
ヨシッ
タオル
タオルやシャツは
2枚以上
あった方がよい
すべりにくい
くつ
モン太
身長170cm
体重95kg
運動歴ほとんど0
ハイキングのイラストマップの
取材ときいて
楽な気持ちで
引き受けたモン太。
モン太はゆっくりだったけど
もっと早く登れるよ、そう2時間ちょっとだョ

市原坂のひだる-民話-

ある日、新田の利助さんが日がくれかかる市原坂を急いで返って来ました。八分目あたりでいくら足を前に出そうとしても、だれかがうしろからひっぱっているようで動けません。「ひだるがつく」といって、むかしこの坂道で飢え死にされた人のたましいがとりついたのかもしれません。そこへ九右衛門さんが通りかかり自分の弁当をあけてごはんをひとくち草むらの中へ投げいれ経文を唱えました。そして残りのほんの少しのごはんを利助さんに食べさせると、どうしても歩けなかった足が前に出るようになり無事家にたどりついたのでした。それから村人達は峠を越える時は必ず弁当を少し残しておくのを心掛けるようになりましたとさ。